

2016年7月14日

報道関係各位

近鉄不動産株式会社
大和ハウス工業株式会社
名鉄不動産株式会社

北大阪健康医療都市（愛称 健都）総戸数824戸の大規模レジデンス 「（仮称）吹田操車場跡地『健都』マンションプロジェクト」 ～『健都』初の着工物件～2016年7月12日着工

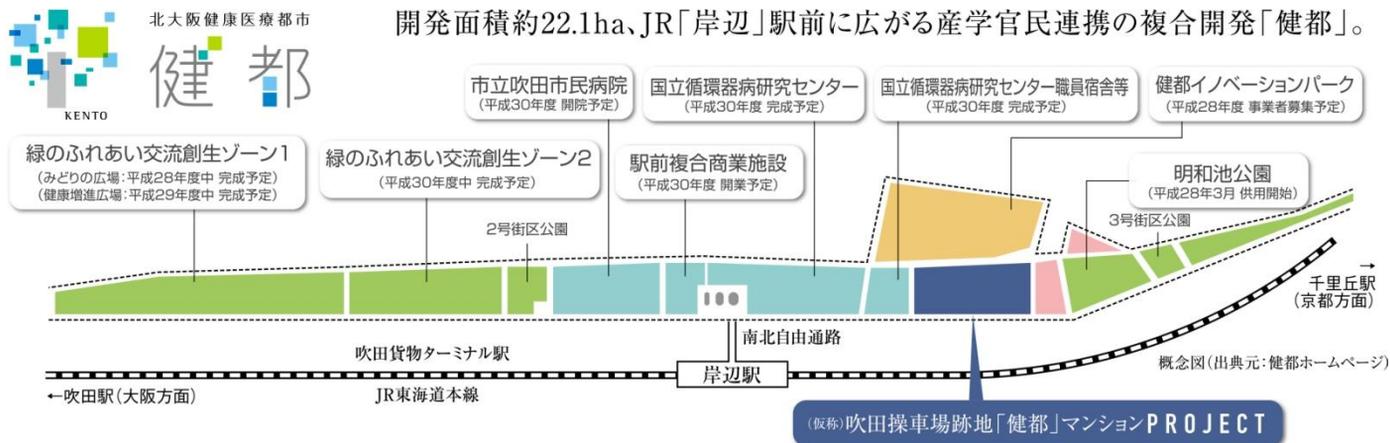
近鉄不動産株式会社（本社：大阪市天王寺区／取締役社長：赤坂 秀則）、大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市北区／代表取締役社長：大野 直竹）および名鉄不動産株式会社（本社：名古屋市中村区／代表取締役社長：前田 由幸）は、大阪府摂津市の「（仮称）吹田操車場跡地『健都』マンションプロジェクト」について7月12日に建築工事の着手に伴い、地鎮祭を行いましたのでお知らせ致します。

地鎮祭には、近鉄不動産㈱・大和ハウス工業㈱・名鉄不動産㈱の代表者および摂津市長など多くの関係者が出席し、38ヶ月に渡る工事の安全を祈願しました。なお、「健都」では、本マンションが国立循環器病研究センターなど他の施設に先駆けて着工する運びとなりました。

本マンションは、JR東海道本線岸辺駅前（吹田操車場跡地）に広がる、開発面積約22.1haの“産官学”連携の複合開発“北大阪健康医療都市『愛称 健都』”（次頁参照）に誕生します。国立循環器病研究センター等と連携するなど、様々な「健康」をテーマにした取組みを予定し、多くの共用施設を擁する総戸数824戸の大規模レジデンスで、2018年2月以降順次、竣工する予定です。

なお、本マンションは今秋にも販売活動を開始し、来年1月にはモデルルームのグランドオープンを予定しております。その他詳細は決定次第発表致します。

【北大阪健康医療都市（愛称 健都）開発イメージ図】



【外観完成予想CG】



【 地鎮祭の様子 】



【玉串奉奠を行う 近鉄不動産(株) 赤坂社長】



【穿ち初めの儀を行う共同事業主】



【地鎮祭の様子】



【神酒拝戴の様子】

【 北大阪健康医療都市(愛称 健都)について 】

1. 概要

吹田市と摂津市の両市にまたがる吹田操車場跡地で推進中の健康と医療のまちづくりが、「北大阪健康医療都市(愛称：健都)」です。本計画は、吹田操車場跡地から新たな都市拠点へ土地利用の転換を図るため、都市計画道路や公園・緑地、ライフラインの整備を2009年度から土地区画整理事業により進めており、2013年6月には、JR岸辺駅北駅前広場を中心とする街区において、国立循環器病研究センターが、2018年度に移転建替することが決定されました。あわせて、同センターの隣地には吹田市立吹田市民病院が移設されることも決定しています。吹田市と摂津市は、この契機を捉えて、国立循環器病研究センター等と連携して、循環器病についての予防医療や健康づくりの取組を推進し、「循環器病予防の象徴」と呼ばれるような「健康・医療のまちづくり」を進めています。また、この地域では、国立循環器病研究センターを中心とする医療クラスターの形成に向けた構想が進みつつあり、JR岸辺駅北駅前広場西側では、駅前にふさわしい魅力的な生活利便機能や医療・健康増進機能等を有する、来訪者に健康に関する行動変容を促す複合商業施設の建設が予定されています。

さらに、この街区に隣接するイノベーションパークにおいては、産学官民が連携する医療イノベーション拠点の形成を図るため、企業や大学の研究機関、サテライトオフィス等の進出用地が確保されています。今後は、大阪府をはじめとする関係機関の協力を得ながら、国際級の複合医療産業拠点(医療クラスター)の実現に向けた取組みが行われる予定です。なお、本計画の摂津市側に“都市型居住ゾーン”が設定されており、本マンションは本ゾーンにおいて建設致します。

2. 都市型居住ゾーン※

吹田操車場跡地地区の都市型居住ゾーンは、「多様な世代が暮らすための機能を充実させながら定住の魅力を高め、自然環境にも配慮した新しいまちづくり」を掲げて、《ひと、まち、みどりを育む暮らしの輪》を創出し、人々の暮らしとともに成長するまちを目指しています。その実現に向けたまちづくりの基本方針として、“①誰もが快適に住まい、心豊かに暮らせる拠点づくり、②日常の安全性や災害に配慮した安心・安全なまちづくり、③まちの個性と地域の調和による街並みづくり、④自然と人がふれあい、共生する環境づくり”があります。

この都市型居住ゾーンは、中高層住宅を中心とした都市型住宅を計画するとともに、周辺施設等との予防医療や健康増進についての連携等も期待されています。※前頁開発イメージ図の本マンションと右側ピンク色の部分

3. マンション共同事業体の事業コンセプト

都市型居住ゾーンの敷地については、近鉄不動産(株)、大和ハウス工業(株)および名鉄不動産(株)の共同事業体が、2015年5月29日に実施された摂津市、URおよびJR貨物を譲渡者とする「吹田操車場跡地地区(7・8街区)土地譲受事業者募集」に応募し、落札しました。共同事業体は、“健康増進を促す”、“健康情報の共有化・意識向上”、“自ら健康管理ができる”の3つをテーマとした「『健康住宅地』を目指したまちづくり」を事業コンセプトとして掲げ、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院および駅前複合商業施設と連携し、「健康住宅地」の形成を目指してまいります。

